

最終更新日： 2024年2月10日

授業科目名 (講義題目)	起業機会探索			開講学期	秋学期
				曜日時限	金曜 I・II限
				単位数	2
担当教員名	五十嵐 伸吾	講義コード	科目区分	対象学生	
		24176116	選択	1年生/2年生	
開講予定日	①②10/4 ③④10/11 ⑤⑥10/18 ⑦⑧10/25 ⑨⑩11/8 ⑪⑫11/15 ⑬⑭11/22 ⑮11/29				
履修条件	QREC「技術系アントレプレナーシップ(特論)」と同一科目。概論である「ベンチャー企業」を履修することを勧める	キーワード	起業プロセス、起業機会、技術シードの商業化、UXデザイン		
全体の教育目標	ケース学習や実技術シードからの商業化に関わるスキルを学ぶ。グループワークを通じチームマネジメントを体験的に学習する。	個別の学習目標	技術を起点とする新事業創造スキルの修得。		

授業の概要	本講座は九州大学ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター(QREC)が提供する(QRECでの科目名は「技術系アントレプレナーシップ(特論)」)。近年のアントレプレナーシップ研究では「起業プロセス」への関心が高まり、中でもプロセスの発端となる「起業機会」の発見(あるいは創造、認知)とその機会をどのような形でビジネスに翻訳するかが注目を集めている。マーケット・プル(市場主導型)とテクノロジー・プッシュ(技術主導型)の事業創造が存在するが、テクノロジー・プッシュは対象とする市場を選択やその市場を形成するプロセスに体力を要するが一方で、事業の知的財産権(例えば特許)などを駆使することで、競争優位を確立することは容易である。近年、MBAホルダーには、アイデア(知的財産化前の発見や発明)をどのようなビジネスとして翻訳し商用化していくのかのニュービジネスクリエーション(新事業創造)のスキルが強く求められている。本授業ではテキストとケーススタディーでこれを学ぶ				
授業の最新情報 案内方法	九州大学Moodle				
授業形態	<ul style="list-style-type: none"> ・講義・演習 ・グループワーク ・ディスカッション ・その他(ゲスト講師招聘) 	使用する教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド資料(電子媒体) ・その他(ケーススタディ) ・映像・音声資料 		

授業の進め方	1. 講義は学生同士の議論に重点をおくため 2コマ連続で開講 する。 2. 講義の議論の密度を高めるために、事前課題の提出を毎回求める。 3. 講義は座学、ケーススタディー議論の形で進める。ケーススタディー、講師招聘の回は、グループワークを中心とする。
教科書及び 参考図書	◎キャスリーン・アレン『科学者が「起業」で成功する方法』日経BP社、2009（1,762円+税） ※但し、テキストは絶版のため適宜準備する ○エリック・リース『リーン・スタートアップ』、日経BP社、2012（1,980円+税） ○アレックス・オスターワルダー他『ビジネスモデル・ジェネレーション～ビジネスモデル設計書』、翔泳社、2012（2,677円+税） ○アレックス・オスターワルダー他『バリュー・プロポジション・デザイン～顧客が欲しがる製品やサービスを創る』翔泳社、2015（3,080円+税） ●竹田和彦『特許がわかる12章 [第6版]』ダイヤモンド社、2005年（2,640円+税）
試験・成績 評価の方法等	事前課題 30% …毎回開講前に事前レポート（2枚程度）の提出を求め、評価に加える。 講義への貢献 30% …講義中での発言を評価に加える。 最終レポート40% …最終レポートを試験に代替する。